阿弥陀寺だより 別紙

2019年3月1日 第6号

やすたのほる 安田登 能楽師(下掛宝生流:ワキ方) 寺子屋講師 (阿弥陀寺) こどもおばけ合宿講師 " 主著に『論語』『あわいの時代』『あわ いの時代の『論語』ヒューマン2.0』 『能 650年続いた仕掛けとは』他多数。	記録里。
にたいないないので、そんな 「地獄や極 たろうか。 「地獄や極 たろうか。 「地獄や極 たろうか。 「地獄や極 たろうか。 「地獄や極	からず候の巻」 だ「◆らもしさた ろ死 ◆ ず 、てれと うん ◆ 候 さ 地 ま い
それを信じておいて、少それを信じておいて、少ろたびに、はい、一万円のません。お念仏を唱えりません。お念仏を唱えるたびに、はい、一万円	す人がいます。そういう でしょう。また、「戒律 です。 たいでしょう。また、「戒律 です。 です。 です。 です。 です。 です。 です。 です。
	なんていうことはありま せん。勉強やスポーツの ただ、「南無阿弥陀仏」と ことはひとつもありません。 うちに死を迎えて、あの でもお念仏を唱えておけ でもお念仏を唱えており に、「ああ、あのとき一度 でもお念仏を唱えておけ こう考えると、お念仏を です。 るということを信じてお
できない自分。もともと やまこそが我が住処。ダ やくうはいっても、ただ お念仏を唱える、そんな です。 そうはいっても、ただ お念仏を唱える、そんな のです。	親鸞聖人は「たとい法然 で一生懸命に修行し で一生懸命に修行し を記された」という後悔 も起きるだろう。しかし、 どんな修行もちゃんとは
でも、現実生活は違い こまでも、現実生活は違い こまでもいい目を見て、 のはなぜ」と思うことも らけれども、生意気なあ いつは全然衰える気配も ない。人生、なんて不公	た。そこで今回は古典を ひとつ紹介しましょう。 「祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり 沙羅双樹の花の色 この文からはじまる古 この世のすべてのもの (諸行)は、常に変化しましょう。 を文はさらに「どんなに勢い おごっている人も、それ は長く続かない。強い人 だって最後には滅びるん だって最後には滅びるん

阿弥陀寺だより 別紙

「ぜひ、ご覧ください	鸞聖人にすかされまいら	『往生	「おごり」の罰を受けまし	師を付けて勉強をさせる。	まじめに知
	聖人よろしく「たとい親	うことは、念仏の教えが	彼は、その死に臨んで	どもの頃から塾や家庭教	は、それを聞いた人(特
子屋の時にお知らせしま	れならば、私たちも親鸞	けるように熱くなるとい	そんなことはありません。	その財力と環境で、子	この論法の危いところ
放送日は変わったら寺	る人は誰もいません。そ	ると、死に臨んで体が焼	幸せだったかというと、	に集中している。	う人がいます。
再放送あり)	死後の世界のことを知	のような悪行を続けてい	では、平清盛は最後まで	して、その多くが大都市	に入ったんだから」とい
月(午後10時25分から	地獄行き決定です。	わかりませんが、おごり	のは平清盛の死後です。	セントほどなのです。そ	いい会社(あるいは官庁)
放送予定は	と書きます。	これが史実がどうかは	でした。平家が滅亡する	るのは日本全体の十パー	して、いい大学に入って、
をします。	『平家物語』は「罪深けれ」	した。	した。また、財力も豊富	で、これほどの年収があ	だって、まじめに勉強を
	かった清盛のことを、	に来る夢を見たりもしま	地位も名誉も保っていま	みに大学入学生を持つ親	するのは当たり前だろ。
田)がゲストとして出演	唱える。それができな	地獄の使者が清盛を迎え	平清盛は、その最期まで	もっと上がります。ちな	「俺たちがいい生活を
今度この番組に私	ただ「南無阿弥陀仏」と	奥さんである二位殿は、	表が平清盛です。しかし、	布なので共働きなら、	いいます。
説するゲスト。	そういうことはもう忘れ、	いいます。さらに清盛の	マであり、そしてその代	れは家計支持者の年収分	という態度をとることを
ンサー、そして名著を解	しかし、死に臨んだら、	獄のような有様だったと	『平家物語』に流れるテー	うことがわかります。こ	て、「それを当たり前だ」
日Kの安部みちこアナウ	かります。	いました。まるで焦熱地	になるよ、というのが	収九五〇万円以上だとい	る」の方はさらにひどく
「トの尹耒完光さんと、」	を引く。恨む気持ちはわ	の中が黒煙で満ちてしま	をもつ人はいつかはダメ	大生の親の六割以上は年	いいます。ただし「おご
です。案内役は、タレン	のに今、平家に対して弓	なって燃え上がり、御殿	さて、そんな「おごり」	実態調査』を見ると、東	態度や行動に出ることを
一一二十五分>四	た。善行ですね。それな	冷水をかければ水は炎に	* * * *	東京大学の『学生生活	はすごいだろう」という
「二十三十く四ヨーL))」	の頼みによって命を助け	水はたちまちお湯になり、	手に入れた人もいます)。	ます。	基本は人に対して「自分
コームの東面の「石窖」を	りだった頼朝。それを母	い。水風呂に入れれば、	境からそのような生活を	れば、勉強をしたくなり	あります。このふたつ、
い手に攻ること、	来ならば首をはねるつも	内に近づくこともできな	です(むろん、大変な環	す。誰だって勉強ができ	のに 「ほこる (誇る)」 が
記れながっつ	気持ちもわかります。本	清盛の5、6メートル以	り」である可能性大なの	できなかったからなので	「おごる」に似ているも
あります。	て亡くなります。清盛の	その熱さのために、人は	いうのは、やはり「おご	くなかったのは、勉強が	因のようです。
うNHKのテレビ番組が	りの供養だ」と言い残し	葉は「熱い、熱い」だけ。	い生活が当たり前だ」と	す。その人が勉強をした	命を衰えさせる大きな原
100分de名著」と	に供えよ。それがなによ	うに熱くなり、発する言	しょう。そうなると「い	でも、それは間違いで	す。「おごる」は、人の運
	の首を刎ね、わが墓の前	体内は火を焚いているよ	せたといってもいいで	しまいます。	せいでなくしてしまいま
お	清盛は最期に「源頼朝	なくなります。そして、	うよりも、環境がそうさ	で仕方ないか」と思って	力を、その「おごり」の
	します。	ら水さえ飲むことができ	のは、その人の努力とい	あの時サボったからなの	せっかくつかんだ地位や
か。	し、清盛はそれさえ拒否	清盛は、発病した日か	入り、いい会社に入った	な生活をしているのは、	します。その人たちは、
定めてはいかがでしょう	残されていました。しか	ます。	すなわち、いい大学に	とです。「俺がいまこん	「おごれる人」たちが登場
すべからず候」と、	による成仏のチャンスが	語』では、壮絶に描かれ	です。	なぁ」と思ってしまうこ	盛をはじめ、たくさんの
ちたりとも、	それでも清盛には念仏	平清盛の死は『平家物	ようになるのは当たり前	れてみれば、そうだよ	『平家物語』には、平清
せて、念仏し	信)』にもあります。	た。	そりゃあ、勉強ができる	かった人)が「そういわ	あるでしょう。